

編集方針

本レポートは、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を目指す三井住友トラスト・グループのESG（環境、社会、ガバナンス）の取り組みを中心に取りまとめた報告書です。当グループでは、2017年より投資家を主要な読み手とした統合報告書を発行していますが、本レポートは、より詳細なESG情報を求める投資家や投資家以外のステークホルダーに対し網羅的な情報開示を行うものです。

本レポートは、世界経済フォーラム国際ビジネス協議会の提言に基づき世界4大会計事務所が中心となって取りまとめた白書「ステークホルダー資本主義を測定する－持続可能な価値創造のための共通指標と一貫した報告を目指して (Measuring Stakeholder Capitalism – Toward Common Metrics and Consistent Reporting of Sustainable Value Creation)」の共通測定基準（以下、コモンメトリクス）を踏まえて作成しました。また、巻末には当該コモンメトリクス、ISSB（国際サステナビリティ基準審

議会）に引き継がれたSASB (Sustainability Accounting Standards Board)・金融セクターの会計指標、国際的な非財務情報開示基準GRI (Global Reporting Initiative) スタンドアードとの対照表および、2019年9月に署名した責任銀行原則 (Principles for Responsible Banking) で義務付けられている年次ベースの開示情報を掲載しています。

報告対象範囲 三井住友トラスト・グループ（三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友信託銀行、三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメント）の取り組みを報告するもの。その他グループ会社については関連する主要取り組みを掲載

対象読者 お客さま、株主・投資家、社員、事業パートナー、地域社会、NPO、行政、国際機関等の全てのステークホルダー（利害関係者）

報告対象基準 2023年1月末日時点（一部に2023年2月以降の情報も掲載しています）

サステナビリティ情報開示ラインアップ

当グループは本レポート、統合報告書以外にもサステナビリティに関するさまざまな情報開示を行っています。まず本レポートからスピンオフさせた別冊版として、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）レポート（旧「気候変動レポート」）、自然資本レポート、不動産ESGレポート（旧「環境不動産レポート」）が挙げられます。また、三井住友信託銀行は2種類のシニア世代応援レポート（「認知症問題を考える」「シニア世代の住まいを考える」）をそれぞれ隔年で、「SuMi TRUST With You社会貢献レポート」を四半期で発行しています。資産運用業務を担う三井住友トラスト・アセットマネジメントは「スチュワードシップ・レポート」を、日興アセットマネジメントは「サステナビリティレポート」を年次ベースで発行し、ESG投資の取り組みを詳細に開示しています。なお、ウェブサイトの「サステナビリティ活動」において、本レポートへの掲載情報以外にも当グループが取り組んでいる幅広いサステナビリティ活動の内容を掲載しています。



ウェブサイトではサクセスフル・エイジング、環境・生きもの応援活動などについて、より詳細な情報を掲載しています。

「サステナビリティの取り組み」 <https://www.smth.jp/sustainability>

季刊小冊子『SuMi TRUST With You』は三井住友信託銀行が全国のお客さまに向けて年4回発行している定期報告書です。高齢者の興味・関心が高い話題や旬の話題、特筆すべきサステナビリティの取り組みをお届けしています。

